

地域にはばたく市民パワァー!



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2020年9月号(第140号)

発行責任者 佐藤 重松



2020.08.14

夏の風物「鮎の友釣り漁法」

場所：栃木県那珂川 仲山 富夫氏/撮影

## 第14期総会および映画鑑賞会のお知らせ

総務部長 中原幹男

来る11月25日(水)新所沢公民館ホールにおいて、第14期ところざわ倶楽部定期総会を開催します。

現13期は、新型コロナの影響で、時局講演会、文芸講座、ところざわ倶楽部まつりの3大行事が中止となりました。今でも市内公民館等公共施設は感染対策のため、利用制限がかかっています。

このような中、昨年から総会会場として予約して

いたミューズ展示室も最大75名の人数制限があるため、会場を新所沢公民館ホールに変更して、十分にコロナ対策をとりつつ定期総会を開催します。

総会におきましては、コロナ禍の現状をふまえて今後どのように活動を行っていくか、みなさまとしっかり議論を深めたいと思います。

後半の映画鑑賞会では、懐かしい映画を鑑賞して日頃の緊張を癒していただければ幸いです。

日時：11月25日(水)13時～16時 会場：新所沢公民館ホール

◆ 定期総会 13時～14時

◆ 映画鑑賞会 14時15分～16時

題名：カルメン故郷に帰る

出演者：高峰秀子、小林トシ子、坂本武、笠智衆、他

監督：木下恵介

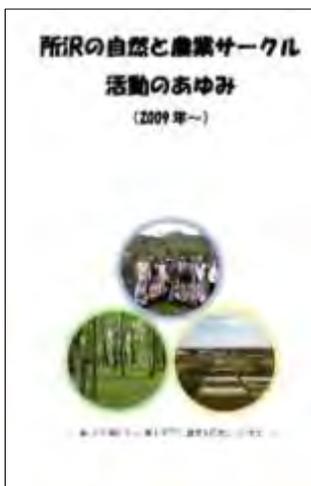
配給：松竹



## サークル活動報告

## 10周年記念誌に託すもの

所沢の自然と農業サークル 代表 稲村 洋二



10周年記念誌 表紙

10周年記念誌作成を提案したのが今年の2月の定例会の席上でした。我々のサークルはメンバー数がところざわ倶楽部のなかでは30名と多く、ほぼ毎年、市民大学の修了生が入会しています。2009年創立からの10年を経て会のメンバーは年齢的にも、活動の経験的にも差が出てきています。そのような現状の中で、サークルの活動についてメンバーそれぞれが考え、感じるところの共通項は何なのか、何を共有できるのか、濃淡はどのような点にあるのか、創立時のメンバーが参加できなくなったらどうなるかなどと考えているときにふと10年の活動をまとめてみようと思いました。編集作業は清水さん、渡部さん、松澤さんに依頼しスタートしました。清水さんが中心となり豊富な資料、写真と記録を駆使してまとめてもらいました。清水さんのこれらの資料がなければ記念誌はまとめきれなかったと思います。改めてお礼を申し上げたいとおもいます。また、清水さんもこれまでの活動をまとめたいと思っておられたことを後日談として伺いました。

私はこのサークルのこれからを展望するには会員の皆さんのそれぞれの意見を載せてそれをこれからの展望としたいと申し出、会員全員に意見を投稿してもらい、取りまとめてもらいました。ところがコロナ自粛で3月、4月、5月は定例会はすべて中止となり編集会議を開いて最終的な打ち合わせをすることが出来ませんでした。6月になってやっと公民館が使用できるようになり、参加人数を11人に制限して編集会議を行いとりまとめました。

7月になってあるサークルのZoom Meetingで「10周年記念誌」を作って何の意味があるのか」という意見がありました。もちろん記念誌を作って記念誌そのものに価値とか意味があるのではなく、記念誌に語られた活動にたいする個々の受け止めに意味があるのだと思っています。そういう意味で

は当該サークル以外の方達にとっては面白くも、意味あるものでもないでしょう。われわれにとっては、サークルの歴史を知ることで創立時からの多くの活動を根づかせるため苦労された先輩諸氏の活動を理解することが出来、今の我々の活動に繋がってきていることを知ることができました。私が勇気づけられたのは会員個々の意見を読むと、みんながそれぞれに自分の居場所を見つけ、楽しく活動しておられるということです。

10周年記念誌を手にし、その読後感として会員の一人のコメントは『皆さんと知り合えなかったら、今頃は多分ボケ老人になっていたかも知れません。お陰様で今年の3月で男の平均寿命をクリアしました。これからは余禄の人生です。連れ合いに話しました。この10周年記念誌を遺品整理する前に、是非孫たちに、「お爺ちゃん最後まで元気に楽しんでいたよ」と伝えてほしいと。リタイア後の唯一のアルバムです。800円に一桁二桁ついても私は購入したいと思いました。それだけ貴重な1冊です』

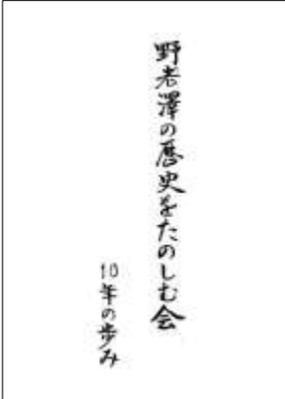
もう一人の会員の方の感想は次の通りです。『このコロナ禍で、私にとっては山田ファームの存在が心の癒しでした。土に触れて畑作業をしたり、みなさんと話をしたり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。自粛期間中も出かける場所があるということに本当に救われました。10周年記念誌では、今は昔、清水さんたちと一緒に横山農園で落ち葉掃きをしたころの写真を見て、懐かしくあれこれ思い出しました。私は、生活クラブの課外活動として、昔から市民大学OBの皆さんと一緒に活動していたんだあと、感慨深いものがありました。これからも、自然を愛する皆さんと一緒に活動していけたら嬉しいです』

8月13日、淵野先生の講演会を開きました。この講演会はZOOMを使ってメンバー以外の方達にオンラインで配信されました。先生は講演の中で我々の活動を①自然と農業の協働活動に期待する、②自然と農業サークルの協働の形という演題の中で評価していただきました。我々も先生の期待に沿えるようこれからも活動していきたいと思っています。

## サークル活動報告

野老澤の歴史をたのしむ会 小倉 洋一

## 「野老澤の歴史をたのしむ会 10年の歩み」発行にあたって



10年の歩み 表紙

野老澤の歴史をたのしむ会の10年はどんなであったのか。市民大学第16期所沢市史グループの「所沢飛行場100年」のグループワーク発表時がかりで、平成22年、所沢市史グループの有志23名が立ち上げたサークルである。その後も市民大学修了生と、ところざわ倶楽部の紹介者の加入も

あり会員は年々増えて現在46名で、ところざわ倶楽部有数のサークルとなっている。目指すべきところは、所沢市史の多面的な学びを通して、人との交流を深め、たのしくわが町の歴史とロマンに触れることである。そして会の運営と目標を達成させるために次の活動を行うと定めている。

- ①年ごとに研究テーマを設定する。
- ②学びは所沢市史にウエイトを置きつつも、所沢に関わりのある近隣地域の歴史にも対象を拡大する。
- ③近現代の所沢に影響を与えた人やモノを学ぶ。
- ④所沢の地産地消の食文化も学ぶ。
- ⑤多面的な学びを通して会員相互の理解と親睦をはかる。

これまでの活動記録を10周年の記念誌として小冊子にまとめ、今後の活動に活かせればと幹事会で打ち合わせを行い、12月の総会に諮り賛同を得た。

まず、資料の収集からである。ところざわ倶楽部HPの活動記録を精査したところ、設立当初の記録が多数欠落していることが判明した。その部分は設立当初から会の運営に携わってきた幹事の覚書や写真、そして当時のメンバーから聞き取りをして、当初の活動の記録を復元することが出来た。またHPにある活動の記

録は内容が事細かく膨大な量であるため、その活動内容の骨子が解るように要点を抜粋して、会員が読み直しても当時の活動の状況がたのしく思い出せたらよしとした。活動の内容は①体験②探訪③バス旅④見学⑤講義⑥懇親会⑦その他、アウトドア、インドアとバランスよく行い、年平均20回の活動で10年の記録は199件となっている。当サークルは所沢の歴史を中心とした活動であるため、年代・地名・人名・事件名など、編集作業には慎重を期して行った。当初は、自宅での修正作業に明け暮れたためメールでのやり取りが中心であった。最終の作業では是非とも幹事が一堂に会っての4月発行の予定であったが、3月以降、コロナウイルス感染拡大の影響で各公民館の使用中止や使用制限があり、会合がままならず3ヵ月遅れの7月にずれ込んだ。同時にその間の外出自粛要請もあり、3月から9月までの活動予定が中止及び延期になったことは今後の教訓になった。

しかしテレワークのおかげでこれまでの10年に及ぶ活動内容がよく分かったことは大いにプラスになった。

近隣を含めた歴史現場を見て歩く大切さとそれに伴う健康効用を考えたアウトドアの活動。渡辺先生や木村先生による所沢に関わる歴史講座や出前講座などのインドアの活動。サークル内の情報交換の場である懇親会とのバランスのよい活動が重要であると思われる。

今後も、ふるさと所沢の歴史に興味のある人が集い、活動に参加したいと思えるような「野老澤の歴史をたのしむ会」がますます発展するような全員参加型のサークル活動を継続していきたい。

おすすめの1冊  
第10回

## おくのほそ道

23期 菅谷 健二



“月日は百代の過客にして  
行きかふ年もまた旅人なり”  
この格調の高い名文で始まる  
松尾芭蕉の『おくのほそ道』  
に出会ったのは高校の教科書  
だった。たちまち取りつかれた。  
紀行文というより俳文と  
いったほうがいいのだろう

か、歌物語である『伊勢物語』にもどこか通ずる  
感じがした。この作品は芭蕉の深い教養から生み  
出されたものであり、一つの文章・俳句にも鋭い  
推敲がなされており発刊されるまで3年の月日を  
要した。

“草の戸も住みかはる代ぞひなの家”芭蕉が旅  
立ったのは1689（元禄2）年3月、46歳の時で  
あった。それまでも多くの旅をしてきたが、陸奥



おくのほそ道

には一方ならぬ思い入れがあ  
ったようだ。それは敬愛する  
能因・西行のゆかりの地であ  
ったからだろう。「古人の求  
めた精神を求めようという芭  
蕉の求道精神は、旅をみずか  
ら体験することによって、最  
も端的にかなえられる」（飯  
田満寿男）深川をたつて白河

の関を越え、松島・平泉から日本海、大垣まで  
150日2,400キロの旅であった。

深川の芭蕉庵の跡は記念館になっているが、近  
くには芭蕉稲荷神社も採茶庵もあるし、隅田川を  
眺めている芭蕉像もあり、格好の散策路だと思わ  
れる。“行く春や鳥啼き魚の目は涙”この句と大  
垣での最後の句“蛤のふたみにわかれ行く秋ぞ”  
が対比されている。

深川を立ち草加を過ぎて日光へ。“あらたふと  
青葉若葉の日の光”日光街道終着、神橋の先に東  
照宮がある。芭蕉は東照宮＝徳川幕府の威光を尊

く思い、この句をものした。

“田一枚植ゑて立去る柳かな”芦野の田んぼの  
傍らに立つ柳は西行ゆかりのものであるらしく芭  
蕉もことさら立ち寄りたかったようだ。植ゑたの  
はだれかといった議論は今でもなされている。早  
乙女か芭蕉か柳の精か。

この旅は歌枕を訪ねることも目的の一つにあっ  
て、芭蕉もあさか山・文字刷り石など多くの歌枕  
を基に文を書いている。阿部喜三男は「自然の姿  
と自分との間に伝統的なものを加えて、その風趣  
を味わおうとする態度」と評している。

“三里に灸すゆるより、松島の月先づ心にかか  
りて”と序にも書いているように松島を殊更楽し  
みにしていた。ここの地の文も素晴らしい。しか  
し“予は口をとどて”とあるようにあまりの絶景  
に感動し、句作はなされなかった。

平泉では杜甫の詩をもとに文章はなされてお  
り、尾花沢の件では徒然草が下敷きになっている  
ところがあつたりする。立石寺・出羽三山での名  
句をものし芭蕉は日本海へ出る。

象潟は松島と対比、出雲崎では“荒波や〜”の  
句も作っている。山口誓子は「秀句として推すの  
は」日本海での俳句であり中でもこれを最高の秀  
句としている。

旅は越中・加賀・越前・滋賀と続き美濃の大垣  
で終わる。多くの名文・秀句がちりばめられてい  
るこの作品だが、竹西寛子は（芭蕉は）「古典的  
世界を訪ねることによって日本文学の伝統に心を  
まかせたいとする願いがあり」と解説している。  
私も読むたびに新しい発見と感動を与えてくれる  
この作品に愛着を感じている。前半に多くを割  
き、後半は急ぎ足になってしまったが、どこから  
読んでも金太郎あめのように味わいが染み出てく  
る名作だ。芭蕉の足跡は関東・東北の各地に今も  
残っている。この本を片手にそれらの地を訪ねる  
のも一興ではないか。また解説書は枚挙にいとま  
がないほど多く出版されている。

## 「戦争と平和！」第23回

佐藤 重松



## 戦争は人類最大の破壊行為 平和と民主主義は一体不可分



当時、私の家族は江戸川に住んで居りました。

1945年(昭和20年)3月10日深夜轟音を轟かせて300余機のB29戦闘爆撃機が東京に飛来、2時間余で33万発の焼夷弾を無差別に投下、一夜にして10万人の命が犠牲に、火傷を負いながら逃げ惑う人々が、熱さのあまり江戸川に身を投じたそうです、明け方力尽きて川面に重なり合うように浮かんでいたそうです。罹災家屋27万戸にのぼり焼土と化しました。幸いにして難を逃れられた父親が目当たりにした忌まわしい地獄絵図を、後に語り継いでくれました。

1945年8月6日広島に、次いで9日長崎に人類の歴史上最も悲惨な原爆が投下され、一瞬のうちに幾十万の尊い命が奪われ、緑豊かな故郷が破壊されました。命が助かった多くの方が被爆者として幾十年の歳月を原爆症に苦しみながら、“三度許すまじ原爆を！”と訴え続け、唯一の被爆国日本が核廃絶の先頭に立つて欲しい願いに、政府は未だに背を向けたままです。

♪夏に咲く花 夾竹桃 戦争終えたその日から、母とこどもの願いをこめて 広島の野に咲いている空に太陽が輝くかぎり 告げよう世界に、戦争反対を♪

戦争発端の是非について、時の政治や軍部、財閥がどのような意図を以て開戦に至ったものかは歴史の評価に委ねるとして、確かに言えることは破壊と殺戮のない戦争はあり得ないと云うこと。

その事によって平凡な日常が、家族やコミュニティが、家や建物が破壊され根こそぎ奪われた現実には歴史に深く刻まれたと云うこと。

その反省の上に戦後75年間、戦争をしない国として平和憲法の下、新たな歴史を刻んで来たと云うこと。

平和の礎を堅固なものにするのは民主主義を土台

とし、基本的人権・自由権・平等権或は多数決原理・法治主義などが正しく機能してなければなりません。

フランスの政治思想家モンテスキューは「法の精神」で“全ての権力者は権力を濫用しがちであり、それを抑制するためには、他の権力によって権力を監視・牽制する”と説いています。

立法・行政・司法、が独立し三権分立機能を発揮、また、健全なジャーナリズムが、ファクト報道に徹し国民のリテラシー向上を促し、正しく物事の清濁や是非の判断が出来る情報の提供が重要です。果たして日本のジャーナリズムは権力に対し如何に？

しかし、残念ながら日本の政治は現内閣(政官)に於いて民主主義を蹂躪する姿勢が、国会運営に如実に現れています。公文書改竄、捏造、廃棄、モリ・カケ問題をはじめ、桜を見る会私物化問題、或は前法務大臣夫妻の選挙買収疑惑、カジノ疑惑等々枚挙に暇がないほどの不正が露見、疑惑解明に蓋をして、世界中がコロナ禍のなかで、日本の国会は早々に閉会。野党が4分の1以上を以て国会法53条に基づき早急に国会を開く求めに、頑なに応じない姿勢は何によるものか、邪な政治運営の極みと云う他ありません。

日本はこの数年の間に、様々な指標の国際比較に於いて著しく劣化の道を歩んでいます。

報道の自由度2016年72位、民主主義度は23位で先進国中最下位、幸福度53位、男女格差に至っては101位です。

歴史は「正義の原理」を貫けない権力者の姿勢は、やがてファシズムへの道に繋がるものだ。と教えています。現在、日本はその瀬戸際に立っているように思えてなりません。

## HP の利用法

## 今後のデジタル技術の活用について

広報部長 玉上 佳彦

新型コロナウイルスにより、世の中の生活様式が大きく変革せざるを得ない状況になっています。大勢で集まる活動は厳しく制限され、ところざわ倶楽部の活動や個々のサークルの活動も、新たな仕組みを模索せざるを得ないでしょう。

そのような中で、先日 8 月 13 日に「所沢の自然と農業サークル」主催の淵野先生の講演会を Zoom ミーティングでの、オンライン中継を試行しました。新所沢公民館の 5、6 号室で Zoom ミーティングを立ち上げて、別室（4 号室）と皆さんの自宅での視聴をすることができました。同時にビデオカメラで録画して、YouTube にアップしましたので、いつでも視聴可能となっています。

ところざわ倶楽部では、紙媒体の「広場」とは別に、ホームページで情報発信をしておりますので、会員の皆様もご利用いただいていると思います。残念ながら、広場 5 月号は休刊しましたが、HP はコロナに関係なく、毎週更新しています。

そこで、今後皆様が、PC を使って、ところざわ倶楽部の活動を HP だけでなく、オンラインで利用できる方法を、以下にご案内します。

## 1. 推奨ブラウザー

ホームページを閲覧する場合には、ブラウザーという閲覧ソフトを利用しますが、欠点が多い Microsoft から切り替えて、Google の「Google Chrome」または、Mozilla の「Firefox」を利用されることをお勧めします。

以下からインストールしてみてください。既存のブラウザーとの併設は可能です。

Google Chrome :

<https://www.google.com/chrome/>

Mozilla Firefox :

<https://www.mozilla.org/ja/firefox/new/>

## 2. Zoom ミーティングへの参加



2020. 8. 13 新所沢公民館にて講演会と Zoom ミーティング

先日の淵野先生の講演会では、Zoom ミーティングという Web 会議ツールで多くの方に自宅から参加していただきました。今後、各サークルでの Zoom ミーティングを活用していただくために、皆さんの PC への設定、テストを実施

していくようにいたします。

Zoom のインストール :

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

既に Zoom ミーティングに参加されている方は、自動的にインストールされていますので、参加はホスト（例えば私）からの招待メールにある URL をクリックするだけで参加可能です。

## 3. HP の掲示板の利用

ところざわ倶楽部の HP には「掲示板」の機能を有しています。是非参加して、自由にご意見、ご感想などを投稿下さい。掲示板は、誰でも自分の意見や考えなどを容易に投稿できる機能です。それぞれの投稿について、同意したり、関連意見などを発言することも可能です。慣れるまでに若干苦勞されるかもしれませんが、容易に利用できますので、トライしてみてください。

## 4. YouTube での動画配信

先日の淵野先生の講演会では、個人のビデオカメラで録画しました。近日中に HP で案内して、会員の皆さんがいつでも視聴いただくことができるようにします。

今後、この機能を活用して、これまでのような講演会や文芸講座などの際に、講師の了解のもとで録画して、YouTube にアップして、視聴いただくことを考えていきます。

## 5. まとめ

サークルによっては、既に Zoom ミーティングでオンラインの会議、定例会活動やオンライン飲み会などを行っています。今後、公民館の制限などが継続される可能性があるため、これまでの公民館を利用していたサークル活動は再検討せざるを得ないと思います。以上より、ところざわ倶楽部と各サークルは、それぞれ活動形態は同一ではありませんが、今後の活動方法として、基本的に以下の方法を利用することを模索していただきたいと思います。

- ・Zoom ミーティングでの会議、特別会員の講演・講義などの配信
- ・ホームページの活用（各種資料の共有など、掲示板利用を含む）
- ・YouTube での動画配信

尚、ご不明な点がございましたら、私（玉上）宛に連絡下さい。実地テストなどをさせていただきます。

# サークル活動計画

## 興味のある活動に参加してみませんか？

### 1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

10月8日(木) 中央公民館8,9号室 13:00~13:30受付と準備、  
13:30~15:30 渡部先生講義(歌舞伎③)(最終回)、  
15:40~16:40 例会  
11月13日(金) 中央公民館13:00~13:30 受付・準備、  
13:30~15:30 講義(内容:未定)、15:40~16:40 例会

### 2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

9月9日(水)13:30~16:00 中央公民館8,9号室 定例会  
テーマ:中国三峡ダム状況報告、香港問題など討論会  
10月21日(水)13:30~16:00 中央公民館8,9号室 定例会  
テーマ:未定

### 3. 生きいきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

9月23日(水)13:00~15:00 生涯学習推進センター101号  
DVD視聴「最新トピックス!4つの認知症 こう治療する」  
10月21日(水)13:00~15:00 生涯学習推進センター 定例会

### 4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 04-2949-3434)

9月8日(火)「ベートーヴェン・生誕250年特集」  
13:15~16:30 中央公民館3階8・9学習室  
10月6日(火)「チャイコフスキー・歌劇 スペードの女王」  
13:15~16:30 中央公民館3階8・9学習室  
楽しい音楽をご一緒に!!

### 5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

9月15日(火)10:00~12:00 ふらっと(研修室) 定例会  
10月20日(火)10:00~12:00 講演会「所沢の食の歴史」  
講師:深井醤油 取締役 深井隆正氏  
中央公民館1階1・2学習室

### 6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

9月15日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館 研修室  
9月度定例会 ①自由討論会 ②環境情報交換 ③その他  
10月20日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館 定例会

### 7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

定例会は第1か第2水曜日開催。今月は9月9日、中央公民館にて13時から開催しました。議題は「シニア世代はコロナ禍をどう過ごしていますか?」  
9月12日(土)、26日(土) チアダンス練習

### 8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

9月15日(火)9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア  
9月17日(木)10:00~12:00 新所沢公民館 定例会  
9月19日(土)10:00~12:00 トトロ21号地保全活動  
9月25日(金)9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア

### 9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

9月17日(木) 渡辺隆善先生の講演は中止延期。日程調整中  
10月1日(木) 飯能歴史地区と博物館見学  
10月15日(木) さつまいも伝来の歴史を吉田家の4代目に聞く

### 10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

9月5日(土)10:00~12:00 中央公民館3号室  
「リチャード3世」完了  
9月19日(土)10:00~12:00 中央公民館3号室  
「リチャード2世」開始

### 11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

9月8日(火)10:00~12:30 西新井町会館  
洋画「鳥」(63年)米 ヒッチコック監督・突然の鳥の恐怖  
9月22日(火)10:00~12:30 西新井町会館  
邦画「天国と地獄」(63年)東宝 三船敏郎、江木俊夫

### 12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

9月29日(火)13:30~16:00  
子どもと福祉の未来館 ボランティア室1・2号  
会員・安田好子氏が導く『フラワーアレンジメント』  
テーマ 《小さい秋見つけた》 材料費・¥600.

### 13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

9月23日(水)14:00~16:00 新所沢東公民館研修室2号  
出前講座:「保健所のしごと」埼玉県保健医療政策課  
当日資料配布予定、  
10月19日(月)出前講座「地方公共交通政策」を計画中

### 14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

9月18日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館  
ボランティア活動室2号 定例会  
『たにしのやせ我慢』語り文(案)検討他  
10月16日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館 定例会

### 理事会報告 7月13日(月)第8回理事会を開催した。

- 各サークルの状況:  
新型コロナ対策のため、3月から活動休止しているサークルがほとんどであったが、公民館等施設が制限付きながらも6月から貸出し開始となり、多くのサークルが活動を再開した。中には夏まで休止を決めたところもあった。
- With コロナの今後、事業のやり方検討のため、対面講座とオンライン講座の組み合わせのセミナーを試行した。  
8/13 所沢の自然と農業サークル・食トコ共催の淵野先生講座

- をテストケースとして、理事、地球環境サークル等に呼びかけ、対面講座、別室視聴、オンライン視聴併用型で開催、延べ60名が参加。
- 広報部として今後、オンライン参加を活動の補完目的で広めていく。
- 第14期総会は、11月25日(水)新所沢公民館ホール開催。準備を9月から開始する。
- パソコン相談会を開催 9月28日30日両日とも13時から15時まで 新所沢公民館5・6号室

